



せいしよ じ だい まち 聖書時代の町：タルソの町



タルソ（現在の日本語名はタルスス）は、使徒パウロ（サウロ）が生まれた町です。
トルコ共和国の中南部の町で、地中海から20kmほど内陸に入った所にあります。
現在も、その町はトルコに存在しています。

新約聖書の時代、タルソは、東と西をつなぐ大きな貿易ルート上にありました。
この貿易ルートにあるタルソは、地中海にも近く、大勢の人々が立ち寄る重要な
中継地点でした。

裕福だったタルソの町は、名門校があったことでも知られています。¹

パウロは若いころ、ガマリエルの生徒としてエルサレムで暮らしていましたが²、
タルソで生まれたため、「タルソのサウロ」と呼ばれていたこともありましたが³、

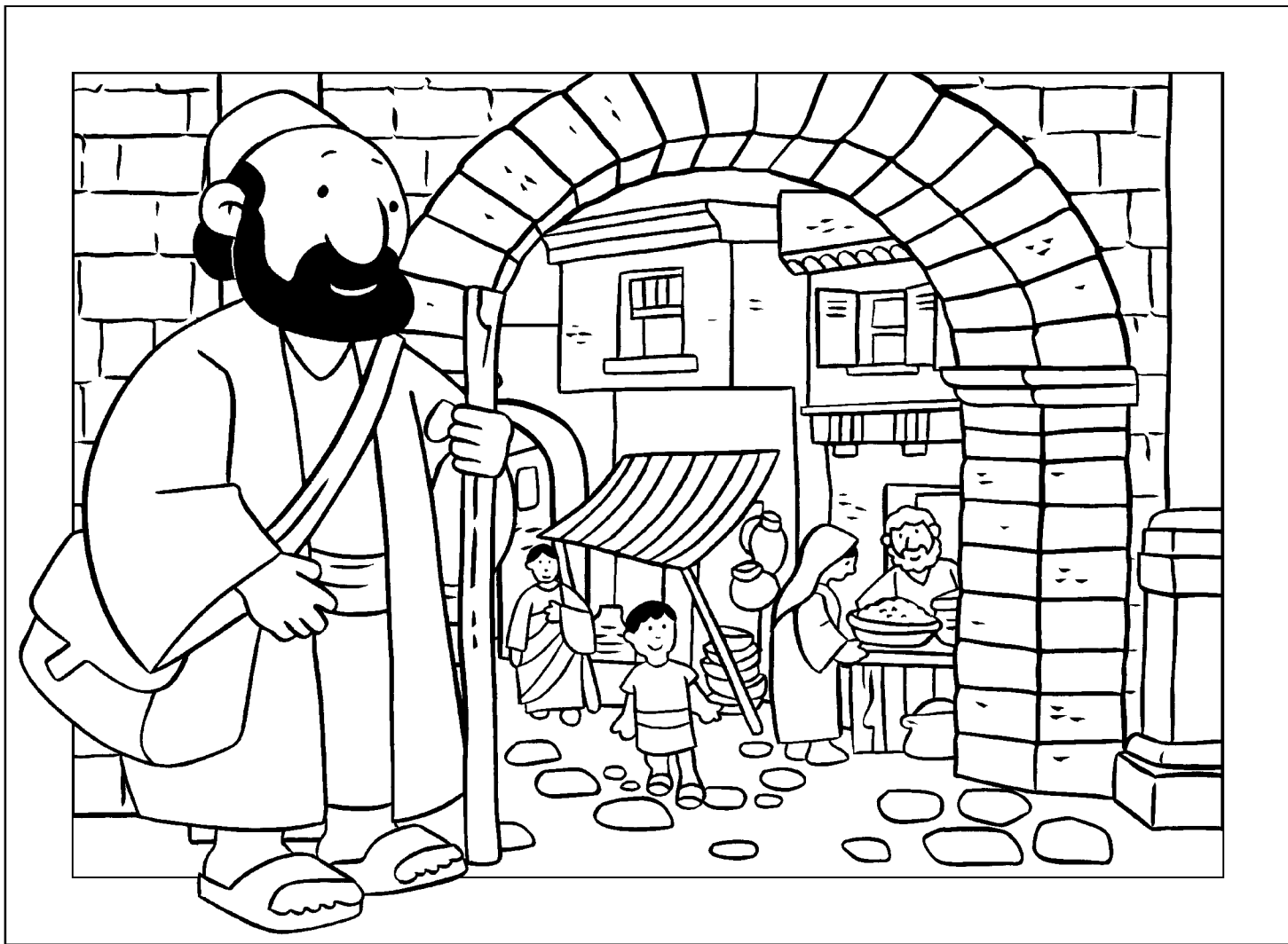
パウロは改心した後、タルソにもどっています。⁴ その8年後、バルナバはパウロに
会うためにタルソへ行き、それから共にアンテオケ（現在のアンタキヤ）へ行きました。⁵

パウロはユダヤ人でしたが、ローマ皇帝が一部のタルソ市民に市民権を与えたため、
パウロはローマ市民でもありました。⁶

きやくちゆう 脚注

- 1 使徒行伝 21:39
- 2 使徒行伝 22:3
- 3 使徒行伝 9:11

- 4 使徒行伝 9:30
- 5 使徒行伝 11:25-26
- 6 使徒行伝 22:24-29



せいしよ じ だい まち 聖書時代の町：タルソの町



タルソ（現在の日本語名はタルスス）は、使徒パウロ（サウロ）が生まれた町です。
トルコ共和国の中南部の町で、地中海から20kmほど内陸に入った所にあります。
現在も、その町はトルコに存在しています。

新約聖書の時代、タルソは、東と西をつなぐ大きな貿易ルート上にありました。
この貿易ルートにあるタルソは、地中海にも近く、大勢の人々が立ち寄る重要な
中継地点でした。

裕福だったタルソの町は、名門校があったことでも知られています。¹

パウロは若いころ、ガマリエルの生徒としてエルサレムで暮らしていましたが²、
タルソで生まれたため、「タルソのサウロ」と呼ばれていたこともありましたが³。
パウロは改心した後、タルソにもどっています。⁴ その8年後、バルナバはパウロに
会うためにタルソへ行き、それから共にアンテオケ（現在のアンタキヤ）へ行きました。⁵

パウロはユダヤ人でしたが、ローマ皇帝が一部のタルソ市民に市民権を与えたため、
パウロはローマ市民でもありました。⁶

きやくちゆう 脚注

- ¹ 使徒行伝 21:39
- ² 使徒行伝 22:3
- ³ 使徒行伝 9:11

- ⁴ 使徒行伝 9:30
- ⁵ 使徒行伝 11:25-26
- ⁶ 使徒行伝 22:24-29

文と絵とデザイン：ディディエ・マーティン

Copyright © 2019年、[ディディエ・マーティン](#) 使用許諾取得済 "Cities of the Bible The City of Tarsus"---Japanese
関連の読み物はこちら ⇒ 聖書の知識、聖書時代の町